

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2008	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
Journal of the Meteorological Society of Japan 及び SOLA の日本気象学会による国際情報発信強化の取組		公益社団法人 日本気象学会	理事長・佐藤 薫
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of the Meteorological Society of Japan SOLA			JMSJ SOLA

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>Journal of the Meteorological Society of Japan と SOLA 両国際誌を気象学分野における国際的にリードする専門誌としての地位を確立するために、日本気象学会は両誌の連携、完全オープンアクセス化、論文掲載料 (Article Processing Charge : APC) の新設、広報体制の拡充、査読・出版プロセスの迅速化などの取組を実施し、中間評価時の目標として掲げていた投稿数・掲載数・投稿数に占める国外からの投稿比率について目標を達成している。インパクトファクター (IF) についても向上しており、当初の計画を上回っていると評価できる。</p> <p>今後は本取組の最終目標である独立採算に向けてのさらなる取組がなされることを期待する。</p>	